
わたしは貞子

あいぽ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしは貞子

【Nコード】

N5947E

【作者名】

あいぽ

【あらすじ】

『べた恋』のあいぽが、『夏ホラー2008』を応援するために描いた衝撃のべたホラー！？

来るゝきつと来るゝ……！！

げえっ、今夜はかんべんしてくれよ、この着メロ！！

ようやくひと仕事も終わり寝ようとしていたら、突然私の携帯電話の着メロが狭い井戸の中に鳴り響いた。

私の名前は山村貞子。

ワケあって今は、この狭い井戸の中で暮らしている。

両手を伸ばしただけで、手にヒヤリと冷たい井戸の壁面が触れてしまうほどの狭い井戸だ。

私は、数年前にある男によつて、この井戸に突き落とされて殺されてしまった。

しかし、その時の私はこの世の中に、相当な恨みを持っていたらしく、成仏できずにこの井戸の中に閉じ込められてしまったのだ。しかもやつかない事に、当時の私はその恨みから「呪いのビデオ」というものまで生み出してしまい、世の中に置いてきてしまった。

「呪いのビデオ」とは、それを見た人は、私によつて呪い殺されてしまうという、一見聞くとそりゃあ恐ろしいものだ。

でもね……、でも、一応弁解させてもらつと、それは私の単なるイタズラ心だったの。

別に、ホントに誰かを呪い殺そうとなんて思つてなんかいなかったし、ただ誰かをびつくりさせたかっただけ。

その証拠に、私はそのビデオの最後に、「一週間以内にダビングして、他の人に見せると呪いは解けるよ」ってちゃんとメッセージ

を残しといたんだから。

だけど、こんなビデオを作ってしまった私はバチが当たったのかな……。

運が悪いことにその最後のメッセージは、大島のペンションに泊まっていた学生たちにイタズラをされて消されてしまったの。

だから、ビデオを見た人は、呪いを解く方法が分からず、みんな私によって呪い殺されちゃうハメになってしまった。

まあ、殺されちゃう方も無念でしょうが、毎日毎日ビデオを見た人のお家に行って、呪い殺す私の身にもなって欲しい。

ホン……ットに大変なんだから。

ひどい時には、一日十件以上の人のお家に行った事もあったなあ。

風邪ひいた時も、熱出して寝込んでいた時も、いつも『……来るーきつと来るー』って携帯の着メロに叩き起されて、呪いに行かなきゃ行けなかったんだから。

そうそう、生理がひどい時なんかはホントに困ったよ。

ビデオを見た人のお家のテレビから、その人のお部屋に入ったとたん、真っ赤な血をポタポタ落としてしまい、それだけでその人は大きな悲鳴をあげて気絶してしまっただんだから。

失礼しちゃうよね、まったく！！

私だって、劇団時代の友達のOLやってる子みたいに、たまには生理休暇でも取ってみたい。

そんな事を考えながら、私は先ほどからずっと鳴りっぱなしの携帯の通話ボタンを押す。

「はいはい、貞子です」

「えっ！？　今から札幌！？」

「ちょっと待ってよ、ここどかだと思ってるのよ！　伊豆だよ、伊豆。そんな遠い所まで行けるワケないじゃん、カンベンしてよ」

「……え？　そんなビデオ作ったお前が悪いって？」

「まあそりゃそうだけども、こんな遅くに出かけるなんてもうイヤだよ」

「……はい、はい。……分かりました、分かりました！！　行けばいいんでしょ、札幌まで！！」

「……つたく、いつかお前呪い殺してやるからな！！」

そんなこんなで、結局今から札幌まで行かなきゃ行けなくなった私だった。

……え！？

今、電話で話してた人は誰って？

それは、ナ・イ・シ・ヨ。

そのお話は、また今度ね。

もう今夜は遅いし、私も今から札幌に行かなきゃなんないし。

はーあ、帰りにスーパカレーでも食べて帰ろうかな。

それでは、行ってきます。

< F i C >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5947e/>

わたしは貞子

2010年11月24日09時30分発行